

第9回若手小児腎臓医のためのパワーアップセミナー

主催 日本腎臓病学会 教育委員会

対象 小児腎臓医を目指す若手小児科医24名

開催日時 平成28年9月17日(土)～18日(日)午後

会場 清稜山倶楽部 福島県郡山市熱海町熱海5-18

参加費 25,000円

宿泊費・懇親会費を含む

9月17日の宿泊施設は事務局で確保いたします。

内容 チュートリアル形式での症例検討とプレゼンテーション
(ディスカッションを含む)

受講の流れ (予定)	7月中旬	グループ分け発表、メーリングリスト作成 参加グループのシナリオ配布と事前学習の開始
	9月中旬	事前学習終了 全グループのシナリオ配布
	9月17日(土)	講演1 チュートリアル学習 発表の準備 講演2 懇親会
	9月18日(日)	セミナー プレゼンテーション&ディスカッション 講演3

【参加予定の皆様へ】

- ①参加グループを2グループ選択してください。
- ②事務局アドレスへ応募してください。
- ③事前勉強とメールによる事前勉強へ参加していただきます。
- ④宿泊はこちらで手配いたしますので、手配不要です。
- ⑤参加費には、宿泊費、懇親会費が含まれます。

※各グループに割り振られたシナリオを入り口として、その分野の基本的な事柄については事前学習してください。全グループのシナリオを事前に参加者全員に配布いたしますので、当日は、各グループのディスカッションに参加出来るように各自学習しておいてください。

スーパーバイザー 高橋昌里(日本大学医学部 小児科)
長田道夫(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

教育講演

静岡県立こども病院 腎臓内科 和田尚弘
埼玉県立小児医療センター腎臓科 藤永周一郎
福島県立医科大学医学部 小児科 川崎幸彦

チューター

斎藤宏(日本大学) 敦賀和志(弘前大学)
元吉八重子(東京北医療センター)大原信一郎(福島県立医科大学)
小椋雅夫(国立成育医療センター) 菅原典子(仙台赤十字病院)
濱田陸(東京都立小児総合医療センター)田村啓成(秋田大学)

応募の要領

まず、別紙および小児腎臓病学会HPに掲載されている参加者への心得を読み、チュートリアルを進め方、とくに事前学習の意味を理解してください。次に、開講分野である

- 1) ネフローゼ
- 2) 腎炎
- 3) 慢性腎不全
- 4) 水電解質・尿細管疾患

の4つから今回受講を希望するものを2つ決めてください。

本セミナーは原則先着順ですが、これまでの参加歴も参考にします。同じ専門分野を目指す同年代の医師や先輩医師と知り合う良い機会です。小児腎臓医としての経験年数は不問です。情熱と向上心のある若手大歓迎です。参加希望の方は希望分野を第2希望まで添えて、下記メールアドレスへご連絡下さい。

企画 日本小児腎臓病学会教育委員会

第9回実行委員長 川崎幸彦(福島県立医科大学小児科学講座)

事務局 陶山和秀(ped-kid@fmu.ac.jp)

申し込み期間 7月1日(金)から7月15日(金) *ただし、定員になり次第募集は終了します。
事務局にメールにて申し込みください。

平成28年度 小児腎臓病学会パワーアップセミナー参加希望者へ

パワーアップセミナーは、小児腎臓病学会教育委員会が、若手小児腎臓医の育成プログラムの一環として年に一度、1泊2日の予定で全国各地にて開催しています。今回の静岡で8回目です。講義形式のセミナー1泊2日で“小児腎が分かる”、ということはありません。そこで、実践的な症例から多くの問題を抽出しながら自主的に学んでいくというチュートリアル形式で行います。これをより効果的にするためには、メールで事前学習を十分に行うことが必要です。この事前学習により、自分のレベルに合わせた勉強の進め方ができますので、小児腎臓医としての経験年数は参加条件にはしていません。学習意欲さえあれば経験値が低くても、セミナーには十分にキャッチアップできると思います。

このセミナーには、以下のようなメリットがあります。

- 1.ネフローゼ症候群、腎炎、慢性腎不全、水電解質・尿細管疾患の4つのうちから自分の希望で受講科目を選択できる(場合によっては第二希望になることもあります)。
- 2.教育委員会で作成した良質の症例のシナリオに沿って、チューターと相談しながら、自分のペースで学習を進めることができる。
- 3.少数で構成されるグループ学習を通して、いろいろな経験やレベルの小児腎臓医と交流し、相互に学ぶことができる。
- 4.小児腎臓医として必要なスキルに密接に関連する教育講演を受けることができる。
- 5.懇親会などを通して、学会のメンバーと縦横の繋がりを持つことができる。

このセミナー受講を希望する方に認識していただきたい点

本セミナーの基本は自主学習であるため、事前学習に意欲的であることが必須です。チューターによる効果的な学習サポートは、シナリオに沿って計画的に行いますので、受講者はメールへのレスポンス、レポート提出期限の厳守をお願いいたします。セミナー受講に関しては、チューターや講師は基本的にはボランティアで参加します。また、会場や宿泊などの手配は担当施設の学会員があたってくれます。運営資金は小児腎臓病学会から支援されていますが十分ではなく、また参加費は抑えたいと考えておりますので、多少の不便などあるかもしれません。この点もご理解いただきたいと思います。若手の意欲のある先生方と、小児腎臓学の大切さ、面白さを分かち合い、実りあるセミナーにしていきたいと思っております。奮ってご応募ください。

小児腎臓病学会教育委員会委員長 長田道夫